

上水道事業経営評価（17年度）

1 17年度決算の概況

平成17年度末における給水戸数は10,232戸で、前年度に比較して5戸の増加であり、年間有収水量は2,391,889m³で、前年度に比較して29,069m³の減となり、配水量2,746,868m³に対する有収率は87.1%となりました。

建設改良費は、老朽管更新事業を200,000千円の事業費をもって総延長4,251.52mの配水管を布設替えし、配水管布設事業は、20,000千円の事業費をもって末広ほか2ヶ所に552.19mの配水管を布設しました。

本年度営業収支では、税抜きで収入844,131千円、支出741,595千円であり、102,536千円の当年度純利益となりました。

資本的収支では、税抜きで収入が222,800千円に対し、支出が408,048千円でありました。

【前年度決算との比較】

収 益	(千円)		
	17年度	16年度	増減額
営業収益	769,702	776,493	-6,791
営業外収益	74,429	79,130	-4,701
特別利益	0	9	-9
合 計	844,131	855,632	-11,501

費 用	(千円)		
	17年度	16年度	増減額
営業費用	588,968	620,513	-31,545
営業外費用	148,954	155,178	-6,224
特別損失	3,673	2,384	1,289
合 計	741,595	778,075	-36,480

経常損益	106,209	79,932	26,277
純 損 益	102,536	77,557	24,979

2 経営評価

公営企業中期経営計画の経営評価の手法は、目標や実績を数値で測定し、目標の達成度が明瞭に分かりやすいベンチマーク（指標）による手法としました。

(1) 健全性に関する指標

水道事業の「経営の健全性に関する指標」の計画値の達成状況は次表のとおりです。

指標名	単位	望ましい方向	17年度			18年度計画
			計 画	実 績	達成状況	
経常損益	千円	↑	83,108	106,209	○	76,133
経常収支比率	%	↑	110.0	114.4	○	110.0
繰入金比率	%	↓	6.3	6.3		6.2

★ 17年度の分析評価

事業の経常的な経営状況を評価する経常損益は、計画値83,108千円の黒字に対し、決算額は106,209千円の黒字であり、計画値を23,101千円上回りました。

この原因は、経常収益で計画値を551千円上回り、経常費用で計画値を22,550千円下回ったためです。

また、経常的な収支の関係を示し、経営の安定性を判断する指標である経常収支比率については、計画値を110.0%と設定していましたが、営業費用の減少などから、決算では114.4%と4.4ポイント上回りました。

(2) 効率性に関する指標

水道事業の「経営の効率性に関する指標」の計画値の達成状況は次表のとおりです。

指標名	単位	望ましい方向	17年度			18年度計画
			計画	実績	達成状況	
給水人口	人	↑	33,413	33,352	○	33,279
年間総給水量	m ³	↑	2,900,000	2,746,868		2,862,500
1日平均給水量	m ³	↑	7,945	7,526		7,842
有収水量	m ³	↑	2,432,000	2,391,889		2,421,000
営業収支比率	%	↑	125.9	130.6	○	124.7
営業収益	千円	↑	769,897	769,702		770,570
職員1人当たり 営業収益	千円	↑	76,990	76,970		70,052
営業費用	千円	↓	611,491	588,968	○	617,588
人件費	千円	↓	96,522	88,759	○	93,816
人件費比率	%	↓	12.5	11.5	○	12.2
有収水量1m ³ 当たり 人件費	円	↓	39.7	37.1	○	38.8

★ 17年度の分析評価

給水人口は、給水区域内人口の減少により、計画値に対して61人の減となりました。それらにより、年間総給水量及び有収水量もそれぞれ減少しております。

営業費用が営業収益によってどの程度まかなわれているかを示す営業収支比率は、計画値を4.7ポイント上回りました。

営業費用は、計画値を22,523千円下回りましたが、主なものは修繕料及び人件費の減によるものです。

(3) サービス内容に関する指標

水道事業のサービス内容に関する指標の実績値は次表のとおりです。

	具体的内容	単位	17年度 実績
普及率		%	92.38
老朽管更新	整備延長	m	49,921
配水管布設	整備延長	m	173,881
水道管の破損	本管の漏水件数	件	
口座振替の割合		%	86.4

★17年度のサービス提供の取組み

八甲田山水系を水源とした、良質な水を、安全で安定した供給を図っていく。
漏水等による断水がおこらないよう、老朽管更新事業を計画的に推進していく。